

現地決済型ふるさと納税

尾鷲市 事業者に加盟呼びかけ
説明会

尾鷲市は11日、市中央公民館で、現地決済型ふるさと納税「尾鷲市ふるさと応援納税」の事業者向け説明会を開き、加盟を呼びかけた。

市は来訪者が滞在中にふるさと納税を申し込める現地型サービス導入を計画。同サービスは加盟の市内店舗に設置された申し込み用QRコードからスマー

トフオンでふるさと納税を申し込み、その場で返礼品の電子クーポンを受け取ることがで

キヤノンシステム。

クーポンは市内加盟店の宿泊施設や飲食店、レジャー施設の支払いに使い、現金との併用もできる。名称は「尾鷲市ふるさと応援納税」とし、運営会社は「DMC aizu」、市内にインターネットのネットワークを持つ中部電力ミライズコネクトが運営支援に当た

品も受け取れる制度。2023年度は約4万人から5億3千万円の寄付があり返礼品を通じて市の認知も進むが、それは加工業が中心。インターネットで物（返礼品）を選ぶサービスから飲食、レジャー、宿泊業にも拡大したい」と述べた。

中電ミライズコネク
ト事業開発本部の佐

伯優二課長、DMCa
izuの中町剛さんが
事業内容を説明。旅行
者が気に入ったまちに

ふるさと納税をして、滞在中の体験やサービス（クーポン、有効期限180日）を返礼品として受けとる仕組みと、全国の自治体で採用が進む状況を紹介した。

各店や宿泊施設、事業所に専用の決済用QRコードを置き、寄付者はスマートフォンでQRコードを読み取って市に寄付。寄付額30%分の電子クーポンが即時に発行され、すぐに見える。

加盟店のメリットは、決済手数料、振込手数料とも無料で、逆にクーポン取扱手数料として利用代金の7%がDMCから支払われる。同社は運営費を市から受け取るため、加盟料や利用料金も必要ない。

システムはスタートできる。来年1・2月には各店を訪問して加盟を呼びかけたい」とし、事業所経営の女性には「システムを導入している他県で寄付し、クーボンの使い勝手が良かった。加盟を考えている」と話していた。

西村調整監は一すてに両社との契約は終えているので、加盟登録の申請があればすぐに

た。
問い合わせは市政
調整課（23—811
6）へ。

同校(6年)の地づくりを
んでおり、一
尾鷲で発掘し
グウハゴロモ
リガイタマシ
イ、フナの葉
石を用意。旧
二村さんから
水の働きて、
岩に多く、
とんどのもの
砂岩から見
大昔の生物
のほか、す
た跡、うんち
の跡も化石と
700万年
ージを読み
ができる「ナ
を受け、化
た。

三葉虫に

二村さんは二
固い殻があり
ゴムシのよう
ことで天敵
る。目は複眼
1ミほどから
皮を繰り返し
なり、40ミ

尾鷲で発掘の化石観察

・賀田小5
・6年生

レプリカ作りも

尾鷲市賀田小学校で
11日、元市教育長でお
わせ学び工房代表の二
村直司さん（73）の出
前授業があり、5・6
年生10人が化石観察と
レプリカ作りを通して
大地の歴史を学んだ。

と観察した。
レプリカ作
村さんが用音
虫やアンモナ
ダ植物、淡水
うに絵の具で

托鉢行脚で全国めぐり（前編上）

野田 泉光院

登、越中、飛驒、甲斐

第四卷 武蔵、上野、下りけり」

信濃、越後、出羽、陸 十四日

常陸下総
辰の下刻

第五卷 上総 安房 相模 西高 小

傷豆 駭海 參海 遇言て終
張、美豐、尹勢、尹て音す。

志摩 三浦 佐々木 続き未だ

第六卷 志摩、紀伊、和 大雪

河内、大和、摂津、播磨

美作、備前、備中、備

「正月の来る風情もなか
 楼門二王庭に不
 に花あり。夫よ
 りけり」

十四日。大雪天。桑名立に国府の彌陀と二

辰の下一刻。八旗へ詣て納経す。本
國司、上。云々の國分寺へ、國司、同意國へ

西向、小社、夫より国分寺へ、四面、同境内に、

言て終結す。蘭林硯刀と云ふ。寶堂あり。西向と宿す。今日とは終日大雪降の安置す。夫れは

続き未だ止まず。因りて一句
関の駅の方へ赴き

「大雪や これも旅路の ひ宿す。」

1

André Gide